

令和3年度 経営の概要

1 経営の基本（目指す学校像）

（1）子どもの心が、人との関わりと音楽活動で潤っている学校

- ・本校の特色である全校音楽活動を経営の基盤とし、学校の歴史や地域の特色を認め、いかしながら、全児童・全教職員・全保護者の心が響き、みんなが たのしい うれしい 学校づくりを進める。

（2）職員のよさが存分に発揮され、チームとして和合する学校

- ・教職員が自分の良さと個性を発揮しながら、チームとして生徒指導の機能を活かした指導の充実を図ることにより、子どもの「心力・学力・体力」の調和のとれた成長を目指す学校の創造に努める。

（3）時代の変化に即し、適応力を発揮する学校

- ・世の中の流れを正しく捉え、学校課題の解決に向かって、具体的かつ効果的な指導により、明日に生きる子どもの十分な学力と心力、体力の育成に努める。

（4）保護者・地域とともに歩む学校

- ・学校の情報をリアルタイムに発信し、地域活性化意識の高揚を目指しながら地域行事へ意図的積極的に参加することにより、学校教育活動への理解と協力、そして地域から信頼され応援していただける学校を目指す。

2 学校教育目標

【校訓】 「規律を守れ」「健康であれ」「辛抱強くあれ」

学校教育目標 **笑顔と勇気で 明日をつくる**

～たのしい うれしい みんなの学校～

＜目標に寄せる思い＞

学校は、子どもたちにとって学びの場であるとともに、最も身近な社会集団の一つであり、未来を生きるための社会性を形成する大切な場である。ここでの様々な経験が、一人一人の力となり、未来への蓄積となる。個人目標に向かって努力すること、学級目標達成のために話し合ったり折り合いを付けたりすることや、みんなで決めたことに向かい力を合わせて成し遂げた喜びは何にも代えがたい大きな心の糧となり、次への大きなエネルギーとなる。間違いや失敗を次に生かし、それを未来のための学びや備えとして、みんなの目標に向かって進む児童を全力で支援していきたい。

笑顔は周りの者も、自分の気持ちも明るく前向きに変化させる力がある。勉強が分かって楽しい、友達から認められて嬉しい、みんなの学校のために考え話し合い、一人一人が力を発揮できたという経験、喜んでもらったという実感を積み重ね、前向きに自分の人生を切り拓いていこうとする児童の育成を目指したい。そのため教師・学校は、保護者、地域とのつながりをさらに強めながら実現のために、笑顔でサポートする。

<西根の合言葉>

チャレンジ! あしたにむかって

<合言葉に寄せる思い>

一人一人が力を合わせ、目の前のことに全力で臨めるように。未来を見つめてチャレンジできるように。学校中に、前向きな空気がこだまするように。みんなで心と声を合わせ唱えていく。

3 目指す子ども像

【やさしく】

他者を思いやる子ども

- いつでもどこでも明るくあいさつをする子ども
- 「はい」「さん」「ありがとう」を言える子ども
- 友達の良さや多様性を認め、なかよくできる子ども
- いろいろなことに挑戦しみんなと協力してやりぬこうとする子ども

【かしこく】

目標に向かって努力する子ども

- 学習ルールが分かり、課題に意欲的に取り組む子ども
- 話をしっかり聞き、自分の考えを加えることができる子ども
- 「～です」と語尾まではっきり表現できる子ども
- 友達の考えを尊重し学び合う子ども

【たくましく】

心身をきたえる子ども

- 目標を立て、みんなと粘り強く取り組む子ども
- 自分の役割に責任をもち、やりとげる子ども
- 健康な生活を心がけ、心身をきたえる子ども
- けがや病気、事故や災害から身を守る子ども

4 経営の重点

- (1) 人との「よりよいかかわり」を重視した、豊かな心の育成……………【やさしく】
 - ・「はい」「〇〇さん」「ありがとう」等を自然に使う言語環境づくり ※
 - ・友達のよさや多様性を認め合えるあたたかな心の育成
 - ・地域と共同活動の推進による地域活性化意識のさらなる高揚
- (2) 学習習慣の形成と将来につながる学力の定着……………【かしこく】
 - ・学習ルールの徹底と見通しがもてる学習指導(大曲西中学校区バージョンによる)
 - ・話をしっかり聞き、はっきり考えを表現する学習活動 ※
 - ・ALT との TT による外国語活動等
 - ・生徒指導の三機能を意識した学習活動 ※
- (3) 「生きる力」を支える主体性・創造性の育成……………【たくましく】
 - ・自己有用感が育つ意図的な場の設定と、感動の共有 ※
 - ・全校音楽活動を基盤としたキャリア教育の充実

※今年度の最重点項目

5 目指す学校像に迫るための構想と具体的な方策

(1) 校歌の一節「和合のひびき」を前面に ～ 音楽とともに、心が和合する学校 ～

- ・音楽活動におけるよりよい「人間関係」での教え合い、学び合い
- ・「ありがとう」と「いいね」を自然に使う言語環境づくり
- ・生徒指導の三機能を意識した授業実践による自己有用感の向上
- ・QU アンケート等によるアセスメントの活用や定期面談内容の共有と初期対応
- ・縦割り活動、学年間交流、校外での体験活動に向けた事前指導の充実および振り返りの充実
- ・支援が必要な児童への正しい共通理解と支援研修、境目のない生徒指導体制、特別支援体制

(2) 西根の合言葉「チャレンジ あしたにむかって」

- ・具体的な目標を立てて日々の実践についての振り返りと評価
- ・みんなとチャレンジしている姿や、「できた」「やっている」ことへの適切な評価
- ・間違いや失敗を恐れず、次の成功に向けた学びとしての価値付け

(3) ライトアップ運動 ～ 一人一人のよさを引き出し、みんなを輝かせる職員 ～

- ・個々が持ち味を生かし、活躍できる場の提供
- ・友だちの様々な輝きを称賛する場の設定

(4) 保護者・地域とともに歩む学校 ～ 地域に信頼され、応援される学校 ～

- ・「学校報」や「行事案内」の学区全戸配布
- ・各種事業をPTAと共働して、PTA活動のさらなる活性化を図る
- ・大曲西地区「保・小・中・支援学校」の授業交流ならびに「心のバリアフリー」交流
- ・地域公民館と連携した地域行事への積極的参加と評価

6 教師の姿勢 “チーム OKAWANISHINE で”

(1) 人間愛、子ども愛、学校愛、地域愛に満ち溢れた教師

- ・子どもに対し、一人の人間として真摯に接する
- ・迷わず「子ども本位」の考え方で、良さを常に伝え続ける

(2) 常に子どもに寄り添い、個性やよさを引き出すための支援をする教師

- ・児童の様子を適切に見取り、心身共に寄り添う距離感を工夫する
- ・子どもの頑張りやよさの発見に努め、認められる感謝される喜びで自信を育てる

(3) 絶えず研鑽（授業改善・業務）に努める教師

- ・安心して学べる学級経営と授業規律の確立
- ・「学び合い」を支える課題の設定と、子どもと子どもをつなぐ授業の構築
- ・生徒指導の三機能を活かし「分かった」「できた」実感を与える授業

(4) 心身ともに健康で、明るく前向きな教師

- ・自らが笑顔一番で、学校生活以外でも潤いのある生活を楽しむ教師
- ・常にプラス思考をもって、「できる理由を探す」ことを忘れない教師

(5) 時代の変化に即した実践を試みる教師

- ・世の中の変化に気付き、学校教育活動に活かそうとする教師
- ・課題を見つけ、時代と子どもを結び付けて考え、実践を進める教師
- ・児童を中心に据えて保護者、関係機関と連携し、よりよい関係構築・実践を進める教師



令和3年度 大仙市立大川西根小学校の学校経営

